

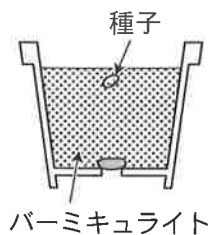
2

春花さんは、マメ科の植物であるヤエナリ（緑豆の別称で、もやし用の豆にする）の30日間の成長の変化を調べるために、次のような実験をしました。これについて、あとの問いに答えなさい。

【資料1】実験方法

ヤエナリの種子を20gずつ電子てんびんではかりとり、水に一昼夜つけたあと、図1のように、*パーミキュライトを入れた鉢30個にまき、その半分は光の当たる場所に、残り半分は暗い場所に置き、毎日十分な水を与えた。その後、1日おきに1鉢ずつ取り出し、苗についたパーミキュライトを洗い落とし、スケッチをしたあとに、ネットの上で1か月間、風で乾かしてから、質量をはかった。

【図1】

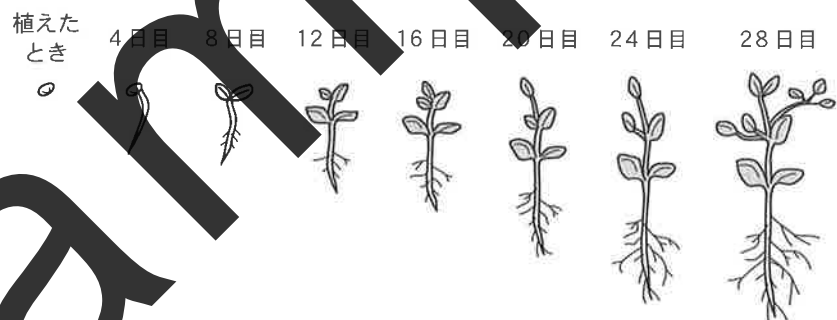


(※) パーミキュライト：水を大量に含む^{ひるいし}蛭石を高温で焼いたもの。多孔質で保水性がよく、園芸で土壌改良や栽培用土となる。

【資料2】実験結果

光の当たる場所での成長の様子を变化がよくわかった4日ごとのスケッチで示すと、図2のようになった。

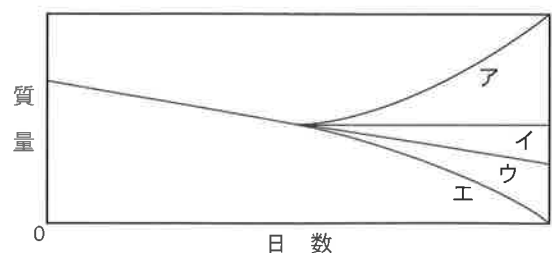
【図2】光の当たる場所で育てたときのスケッチ（概形）



問1 線部「ネットの上で1か月間、風で乾かし」とありますが、その理由を書きなさい。

問2 光の当たる場所と暗い場所のヤエナリの質量の変化はどのようになると予想されますか。図3のア～エの中から最も適するものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

【図3】ヤエナリの質量の変化



問3 30日間データをとり続けたところ、問2で予想されたような質量変化が実際に見られました。光の当たる場所と暗い場所で実験途中から質量に違いが生じた理由を、2つのはたらきに着目して説明しなさい。なお、その2つのはたらきの名称を説明文内に書き加えること。